

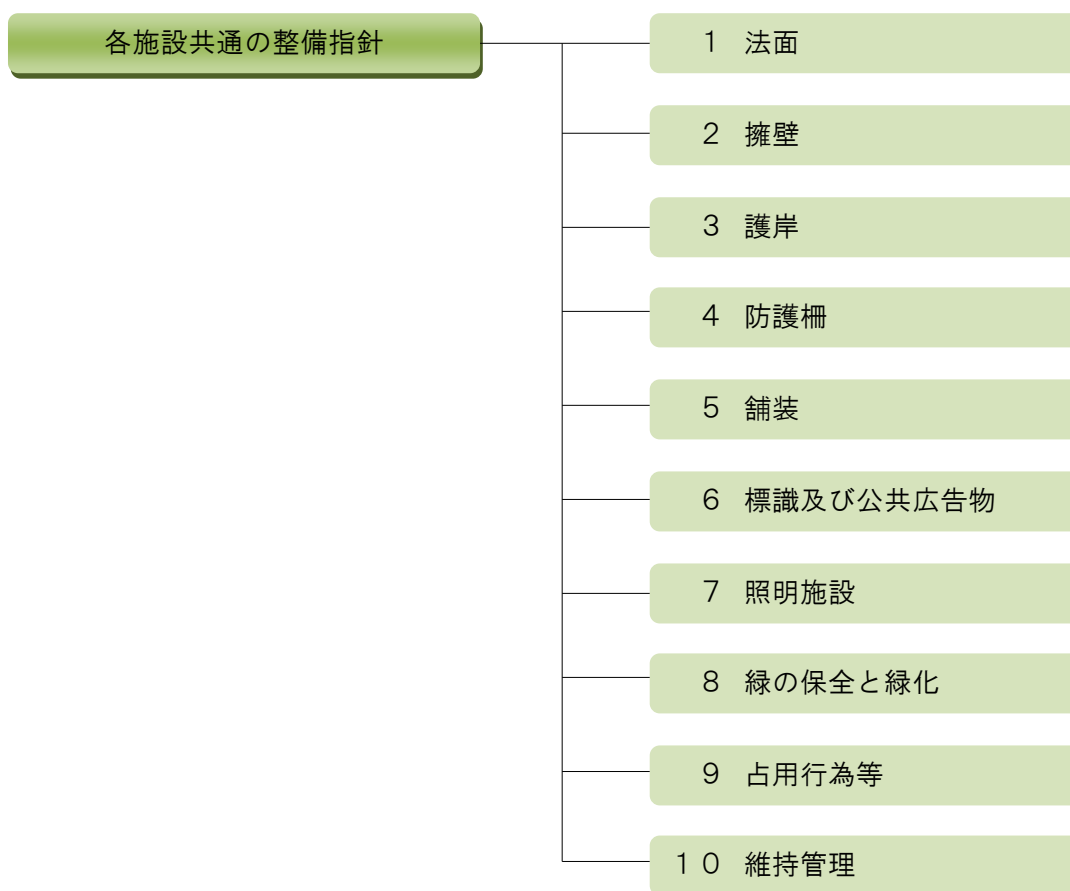
# Ⅲ

## 各施設共通の整備指針

### 四 各施設共通の整備指針

市の良好な景観の形成を図るため、次に掲げる各施設に共通する整備指針に従って、公共事業等を実施するものとする。

指針「二 基本方針」をふまえ、各種公共事業を行う際に、各施設で共通して配慮すべき事項を定めています。



## 1 法面

- ア 構造及び形態については、できる限り周辺の景観と調和させ、緑化に努めること。
- イ 法面を安定させる目的でやむを得ず構造物を施工する場合であっても、できる限り緑化可能な工法の導入に努めること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 道路や施設の位置、配置を検討し、長大な法面が生じないように配慮する。
- 急勾配の法面は、心理的な圧迫感、閉塞感、不安感を与えるため、できるだけ緩やかな法面勾配を採用し、これらの軽減に努める。
- 法肩部や端部をラウンディングする等、周辺地形との連続性に配慮する。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

- 連続した法面では、できるだけ統一した法面処理とすることが望ましい。
- 法枠工やグラウンドアンカーの受圧板は、景観に与える影響が大きいため、形状に配慮するとともに不規則な配置を避けるよう努める。

#### 【緑化、修景】

- 法面の緑化は周辺植生との調和を図る。



**法面①**  
長大な法面も植生を施すことで時間の経過とともに周囲の景観に馴染んでくる。



**法面②**  
高さが低く、低勾配の法面は圧迫感が少ない。緑化により周囲の景観になじんでいる。



**法面③**  
長大な法面は勾配をできるだけ緩やかにし、緑化可能な工法を採用する。



**法面④**  
植生の定着により、周辺の斜面との一体化が進んでいる。



**法面⑤**  
受圧板の規則的な配置と植生により異質感を軽減している。



**法面⑥**  
つる性の植物による被覆や植栽樹による緑化で、構造物による圧迫感を和らげている。



**法面⑦**  
緑化への配慮がなされているため、年月が経過して受圧板が目立たなくなっている。

## 2 擁壁

構造、形態、意匠及び素材については、周辺の景観と調和させるとともに、必要に応じて周囲の緑化に努めること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 擁壁等の必要がないよう道路や施設の位置、配置を検討する。やむを得ず擁壁等を設置する場合であっても、長大とならないよう努める。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

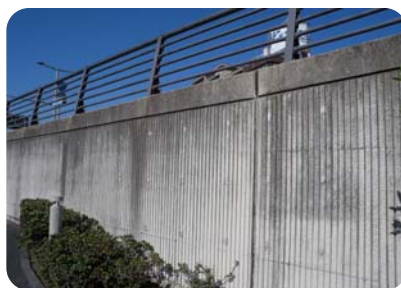
- 擁壁等は、素材のほかに表面の仕上げによっても明度や質感に違いが生じることを認識し、施工する場所に応じた素材や仕上げを検討する。
- コンクリート擁壁は、構造や形状を工夫するとともに化粧型枠、タイル等による装飾や、凹凸のある仕上げをするなど、表面処理を施して圧迫感や違和感の軽減に努める。
- 切土法面における施工延長の長い擁壁は、天端や目地の連続性に配慮する。
- ひとつの法面に対して 2 種類以上の法面保護工種を採用する場合は、その一体感に留意する。

#### 【緑化、修景】

- 特に景観に配慮すべき地域内においては、自然石や地場産素材の活用等により周辺の景観との調和を図るよう努め、やむを得ずコンクリート等による場合であっても、表面処理や緑化、隠ぺい等による修景に努める。
- 公園や公共建築物の敷地等では、擁壁前面をツル性植物等や樹木で緑化や自然素材で隠ぺいするなどして壁面を部分的に隠ぺいするなど、圧迫感を軽減させるよう努める。



**大型ブロック(法吉町)**  
化粧型枠仕上げを採用することによって圧迫感を軽減している。



**コンクリート擁壁(末次町)**  
等間隔のグループ(溝)による陰影で圧迫感を軽減している。



**ふとん籠・蛇籠**  
自然石を使用することにより、周辺の景観になじむ効果もある。

【 Ⅲ 各施設共通の整備指針 】



**コンクリート擁壁の修景(鹿島町北講武)**  
中高木と低木の組み合わせで高さのある擁壁を隠している。



**コンクリート擁壁の修景(玉湯町玉造)**  
前面を木材で隠すことにより、構造物の圧迫感を軽減している。可視部分には、川砂利を塗りつけて美装化している。



**植栽ブロック(末次町)**  
擁壁が緑化され、快適な歩道空間となっている。

### 3 護岸

ア 護岸の構造、形態、意匠及び素材は、できる限り周辺の景観との調和及び連続性に配慮するとともに、生態系の保全及び親水性の確保に努めること。

イ 必要に応じて護岸周辺の緑化に努めること。

#### 【計画上の留意点、配慮事項等】

##### 【規模、位置、構造、形式】

- 護岸は機能性、安全性に支障のない範囲で、親水性や周辺の景観との調和に配慮した整備が望まれる。
- 局所的な施工をするに当たっては、既設の護岸との連続性や一体感の確保に配慮する。

##### 【形態、意匠、素材、色彩】

- 護岸は、素材のほかに表面の仕上げによっても明度や質感に違いが生じることを認識し、施工する場所に応じた素材や仕上を検討する。
- 自然素材や環境保全型ブロックの使用、景観に配慮した表面処理等により、周辺の景観や土地の歴史性に配慮した形態・意匠となるよう努める。
- 景観重要公共施設（河川）のうち、旧城下町のエリアにあっては、自然石による石積を基本とする。
- 排水口等の貫通構造物や小口止めは、護岸本体との一体感に留意する。

##### 【生態系の保全】

- 豊かな自然環境を有する地域においては、魚巢ブロック等を使用して魚類等の生息に配慮するなど、生態系に特に配慮した整備が望まれる。（多自然型護岸など）

##### 【親水性の確保】

- 必要に応じて階段護岸やスロープ等を用いて、親水性の確保に努める。

##### 【緑化、修景】

- 水辺と建物等を違和感なく結びつけるよう、必要に応じて護岸周辺の緑化を検討する。
- 圧迫感の強い護岸には、下垂型の植物などによる修景が有効である。





400 選 184

**石積護岸(奥谷川)**  
町なかに流れる小さな川も、石積護岸が残され、歴史が感じられる。



**石積護岸(広岡川)**  
改修前の護岸に使われていた石を使用することで、神社のある風景になじんでいる。



**石積護岸(堀川)**  
往時の人々の暮らしを思い起こさせる構造物。景観に深みを与えている。



**石積護岸(京橋川)**  
対岸の景観との調和に配慮している。



**平板、タイル張(宍道湖)**  
護岸のデザインは、周辺施設と調和させることは勿論、背景(中景、遠景)に見えるものとの調和も意識したい。



**ブロック等による階段護岸(宍道湖)**  
水面とコンクリートブロックが自然石の捨石で柔らかくつながっている。階段状で、湖面や夕日、花火などの視点場となっている。



**石積護岸(中海)**  
自然石を基調とした護岸は、周辺の景観に調和しやすい。



**矢板護岸(北田川)**  
手入れの行き届いた緩斜面護岸。建築物と川を柔らかくつないでいる。



**矢板護岸(中川)**  
緑の多い護岸は、町なかであっても生き物の存在を感じさせる。



**自然護岸(意宇川)**  
治水上問題がなければ、あえて自然護岸を残すことで、変わらない景観と生態系を維持できる。



400 選 196

**連杭と植栽(米子川)**  
遊覧船の航路上の護岸は、乗船客の視点を意識することが必要となる。



**自然石による階段護岸(意宇川)**  
河川断面に余裕があれば、水に近づける護岸構造を採用したい。

## 4 防護柵

ア 構造、形態、意匠、素材及び色彩は、周辺の景観との調和に努め、地域の特性及び統一性に配慮すること。

イ 安全性及び維持管理に支障のない範囲で、周囲の緑化に努めること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 防護柵は、機能性及び安全性を確保したうえで、美観を高める配慮が必要である。
- 必ずしも防護柵としての機能が求められない場所では、必要以上に空間を遮断しないよう、植栽やボラードなどによる代替案を検討する。
- 海岸や護岸の道路、展望地など眺望の良好な場所では、ガードパイプやガードケーブル、格子部材の細かいフェンスなど透過性の高いものを使用し、良好な眺望を確保する。
- カーブが連続するなど視線誘導が必要な場所では、景観をできるだけ阻害しない反射材を使用するなど配慮する。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

- 防護柵は、安全上の注意を促すものでなければ、過度な装飾や派手な色彩を避ける。明度・彩度の高い色彩は必要以上に目立ち、周辺の景観になじみにくいので注意が必要である。
- 防護柵周辺の道路附属物との色彩の調和を図り、まとまり感のある景観を形成するよう努める。
- 歴史的なまちなみや自然豊かな地域においては、自然素材や擬木の活用など、質感を高める工夫をする。

#### 【緑化、修景】

- 防護柵周辺は、安全性及び維持管理に支障のない範囲で植栽等による修景に努める。



**転落防止柵((市)玉湯川筋線)**  
河川への眺めを阻害しないガードパイプ。控えめな色彩で統一されている。



**転落防止柵(城山西通り)**  
木製梁を採用、上部を川側へ倒すことで歩行空間を広く見せている。



**転落防止柵(ふるさと森林公園)**  
施設のイメージにもあった木製柵。





**転落防止柵(京橋川通り)**  
 周辺施設と質感を調和させることで、まとまり感のある景観が形成できる。



**転落防止柵(天神川水門)**  
 透過性の高いデザインにより、水辺との距離感が縮められている。道路からの眺望も遮らない。



**転落防止柵((市)北田大手前線)**  
 柵の高欄と調和したデザインの防護柵。橋と通りの一体感が生まれる。



**転落防止柵(穴道湖岸)**  
 穴道湖の眺望を阻害しないガードパイプ。彩度・明度の低いブラウンは、自然景観・都市景観のどちらにもなじみやすい。



**転落防止柵(穴道湖岸)**  
 質感も高く、自然景観と相性の良い木製柵。



**ボード・植栽(穴道湖通り)**  
 植栽帯や駒止等で歩車道を区分することで、横断防止などの心理的な抑止効果を発揮する。



**ボード(駅通り)**  
 防護柵を使用せず、ボードを設置することで道路空間に広がりが見られる。歩車道間の逸脱防止についても検討が必要となる。



**ボード((市)天神川北1号線)**  
 柵の代わりにボードを設置することで河川との境界が曖昧になっている。河川空間と一体となり、開放感が増している。



**ボード(カラコロ広場)**  
 ボード間からの転落に対する注意を喚起するため、ボードの周囲に点字ブロックを配している。



**転落防止柵((市)東本町東西4号線)**  
 擬宝珠を載せた支柱が堀川の歴史性を感じさせる。



**植栽・竹垣((市)図書館西通線)**  
 石垣が史跡であるため防護柵は埋め込めないが、低い植栽や歩道の明示と竹垣により、安全性と周辺景観との調和を両立している。



**(塩見縄手)**  
 景観への配慮や史跡保護、車両や歩行者の安全確保等を総合的に勘案した結果、防護柵を必要としない場合もある。

## 5 舗装

素材については、施設の用途や地域の特性に配慮し、意匠及び色彩は周辺の景観と調和させるよう努めること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 安全性、機能性、維持管理に支障のない範囲で、周辺の景観の魅力を高める舗装となるよう工夫する。
- 整備時の整備意図が継承されるよう、交通量や通過車種に応じた耐久性を持つ構造とするとともに、修繕や材料入手のしやすさ等も考慮して舗装の種類を選択する。
- 通過交通を排除して歩行者優先の道路とする場合は、構造や素材によって運転者に印象付けることが有効である。
- 局部的な施工をするに当たっては、既設の舗装との連続性や一体感の確保に努める。
- 路面の排水性や車イス等の利用者の安全で快適な移動性の確保など、利用者が受容され、歓迎されている実感が持てるような景観となるよう、構造面からも工夫する。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

- 歴史的なまちなみや自然豊かな地域等、特に景観上の配慮が必要な場所では、自然素材やそれに近い色調の舗装材を用いるなど、周辺の良好な景観を引き立たせるよう工夫する。
- 歩行者や自転車などの通行帯を区別するためにカラー舗装等を行う場合は、安全上どうしても必要な場合を除き、周辺の景観から突出しない控えめな色彩を使用するよう努める。
- 賑わい感の演出が必要な場合を除き、舗装そのものが目立ち過ぎないように、インターロッキング等による描画などは避け、周辺の景観となじむデザイン、色彩とすることが望ましい。
- 橋梁部の舗装は、橋梁本体や周辺施設と調和したデザインとする。



**自然石張(美保関町青石畳通り)**  
美しい町並みと風情のある道は、まちの観光資源にもなる。



**半たわみ性舗装(玉造温泉街)**  
重量車輛に対して耐久性が高く、観光バスの乗り入れに配慮している。舗装に目地を入れて石畳風の外観としている。



**型押しモルタル平板張(県立美術館)**  
穴道湖と芝生に調和する石張風とし、目地の陰影により抑揚のない平面に変化を与えている。





**コンクリート平板(央道湖大橋北詰)**  
橋梁本体の歩道と調和するデザインとしている。



**しまね景観賞**  
**型押モルタル平板・自然石張(岸公園)**  
央道湖や山並に調和すよう、落ち着いた印象の素材・色彩を用いている。



**鉄平石張(白潟公園)**  
近接する央道湖に調和するよう、自然石を用いている。



**ピンコロ石敷(カラコロ広場)**  
凹凸感のある路面は、日没前の陰影が美しい。運転者への速度抑制効果も期待できる。



**400選 200**  
**自然石張((市)紺屋小路線)**  
自然石を用いることで、対岸の建築物との調和が図られている。



**樹脂系舗装(白潟公園)**  
舗装面の明るい色彩が、背景となる都市景観と調和し、賑わい感を演出している。



**樹脂系舗装(夕日スポット駐車場)**  
明るい色調が賑わい感を演出している。点字ブロックのコントラスト向上にも配慮されている。



**タイル張(鹿島町本郷橋橋詰)**  
彩色の自由度の高さを生かして橋詰のスポットを明るく演出している。



**土系舗装/薄層カラー舗装(塩見縄手)**  
歴史的な町並みに調和した道路。車道、路側帯、歩道の素材や色彩に配慮している。



**インターロッキング((市)亀島大原街道線)**  
落ち着きがありながらも賑わいを感じさせる舗装。



**タイル等組合せ(央道湖大橋)**  
橋梁本体と調和する落ち着いた色彩。モダンでリズム感のあるデザイン。



**ロードアスファルト舗装((市)北堀7号線)**  
白色の砕石を散布・圧入して仕上げられている。路面が明るく感じられ、観光ルートの明示にも役立っている。

## 6 標識及び公共広告物

- ア 設置数や設置場所の適正化及び整理統合に努めること。
- イ 形態、意匠、素材及び色彩は、周辺の景観との調和、地域や沿線の統一性に配慮すること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 地域内の既存標識及び広告物を調査して地域全体のサインの統一感を確保し、整理統合も含めて検討する。
- 特に良好な眺望を有する地域においては、眺望を遮らないよう設置場所に十分配慮する。
- 複数の標識・公共広告物は、できる限り共架、添架を図り、支柱の一体化に努める。
- 公共広告物は色彩等を標準化し、記号化、図案化するなど情報を整理し簡潔に表示する。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

- 歴史的なまちなみや自然豊かな地域、公園等においては、地場産の素材など、地域性のある素材の活用を検討する。
- すっきりした形態、周辺の景観から浮き上がらない色彩とするとともに、照明灯や防護柵等、周辺施設との調和や、地域や沿線の統一性に配慮する。
- 宍道湖景観形成区域では、ダークブラウン（マンセル値：10YR3/2）等の色彩を用いる。

（※宍道湖景観形成区域の色彩基準については、「Ⅴ 資料編」の「(4) 松江市景観計画における色彩基準（抜粋） 【宍道湖景観形成区域における色彩基準】」を参照。）



案内板(島根町野波)

整理統合された案内板。落ち着いた色だが、地域内のデザインを統一しているので見つけやすい。



案内板(宇賀橋北詰)

歴史的な町並みに配慮したデザインとしている。



通り名の表示板(惣門橋通り)

周辺の景観に配慮し、けばけばしい色彩を避けている





**説明板(松江城大手門前)**  
隣接する案内板は、デザインを調和させる。



**案内板(末次公園)**  
公園の雰囲気になじむ木材を使用。記号化してわかりやすいものとしている。



**案内板(松江イングリッシュガーデン)**  
同一敷地内では、公共広告物と周辺施設の色彩を統一することで、すっきりとした印象になる。



**案内板(松江イングリッシュガーデン)**  
同一敷地内では、公共広告物と周辺施設の色彩を統一することで、すっきりとした印象になる。



**通り名の標柱(自性院通り)**  
古くからの寺院のある通りの入り口に設置された標柱。素材に來待石を採用し、落ち着いた印象となっている。



**案内標(亀田橋橋詰)**  
本体に自然石を使用。道路標識の支柱にはダークブラウンを用い、目立たなくしている。



**案内板(出雲国分寺跡)**  
來待石は、石材でありながらも柔らかみや暖かみを感じさせる。経年変化も、より趣を深く感じさせる。

## 7 照明施設

- ア 対象物に必要な照度や照明の方法については、照明の目的にあわせた工夫をすること。
- イ 灯具の位置、形態、意匠、色彩及び素材は、周辺の景観との調和及び統一性に配慮すること。
- ウ 光源の光度や色温度などが夜間景観に及ぼす効果や影響について検討すること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【照明計画】

- 「松江市 光のマスタープラン」の計画対象エリア内では、プランを参照して統一感のある照明計画を検討する。
- 夜間は「見せたいもの」を照明によって容易に操作することができる。市民や観光客に親しんでもらいたい公共建築物等に対しては、魅力的な夜間景観の形成を考慮して照明の明るさや光の色を検討する。
- 魅力的な夜間景観の形成を考慮して、照明の明るさや光の色を工夫する。地域の状況に応じてフットライトや間接照明、ライトアップ等の効果的な導入を図る。
- 漏れ光が夜間の景観や快適な住民生活を損なうことのないよう、周辺施設の状況も調査、勘案したうえで照明計画を決定する。
- 可能であれば現地で試験点灯をして、照明の状況を確認することが望ましい。

#### 【灯具】

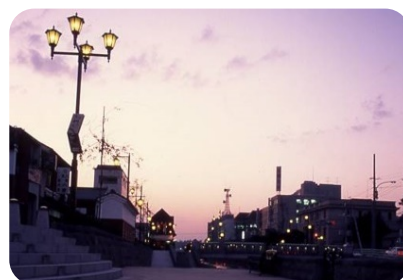
- 照明施設は、地域特性や維持管理性を踏まえたうえで、シンプルかつ質の高いデザインとなるよう配慮する。
- 歴史的なまちなみや自然豊かな地域、公園等、特に良好な景観を有する地域においては、景観を引き立てる自然素材等の効果的な活用を検討する。
- 近接する他の施設（防護柵、標識柱等）との調和を図り、照明施設等の林立が昼間の景観を乱すことのないよう配慮する。



**ポール灯((市)大橋川北沿1号線)**  
橋梁の照明施設のデザインや街路樹の雰囲気と調和する街路灯。



**ポール灯(松江イングリッシュガーデン前)**  
歩道をエントランスととらえ、施設や施設周辺の植栽の雰囲気と調和するデザインとしている。



**ポール灯(カラコロ広場)**  
周囲の景観と調和した灯具により、魅力的な夜間景観が演出されている



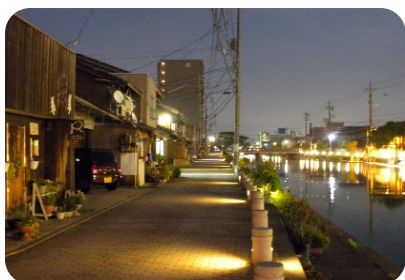
**ポール灯(駅通り)**  
信号機と道路照明のポールを共用することでポールの乱立を防いでいる。



**低位置照明(惣門橋通り)**  
歴史的な町並みと調和する。落ち着いた印象の本体デザイン。



**しまね景観賞**  
**投光器(松江城山公園)**  
天守のライトアップに加え、水面には石垣が美しく映し出され、水都ならではの夜間景観を作っている。



**低位置照明((市)天神川南2号線)**  
天神川沿いの通りの足元を照らす低位置照明。水面に映る対岸の明かりと相まって美しい。



**低位置照明(玉造温泉街)**  
小さな孔から漏れた光が勾玉を浮かび上がらせ、川沿いに並んだ灯りがそぞろ歩きを誘う。



**低位置照明(塩見縄手)**  
ろうそくの光が揺らぎながら路面を照らす。明暗のコントラストが美しい。



**演出照明(武家屋敷)**  
塀の軒下を照らすことで間接的に壁面と歩道を照らしている。柔らかく明るすぎない光が夜の伝統的景観を演出する



**演出照明(カラコロ工房)**  
壁面を照らし上げ、建物の質感がより強調され、川面に映る鏡像とともに印象的な景観となっている。



**演出照明(興雲閣)**  
色温度を低く抑えた照明が歴史性の高い建物のライトアップにマッチし、意匠を凝らした建物を柔らかく浮かび上がらせている。



## 8 緑の保全と緑化

ア 良好な景観を形成している既存樹木については、保存、移植等による活用に努めること。

イ 植栽に当たっては、自然の植生、周辺樹木との調和、地域の特性等に配慮すること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【総合的な計画】

- 松江市の緑地の保全及び緑化の推進に関する総合的な計画として「松江市 緑の基本計画」が定められている。事業に当たっては、この計画を参照し、その地域で目指す緑化の方針などを確認する。

#### 【保存】

- 既存の緑地や樹木はできるだけ保全する。特に、地域のシンボルとして人々に親しまれている樹木は、良好な景観要素として積極的に活用する。

#### 【緑量、樹種】

- 緑は良好な景観を形成する重要な要素なので、効果的な活用を図る。
- 植栽に当たっては、地域の歴史や景観特性、対象地の状況に配慮した樹種を選択し、効果的な配植デザインを行う。また、成長後の高さや枝張りを念頭に配置や密度を決定する。
- 緑化可能な面積が限られている市街地においては、街路樹、シンボルツリー、壁面緑化や屋上緑化など、小規模であっても効果的な緑化を積極的に行う。
- 展望地においては、植栽が眺望を妨げないように、配置や樹種を検討する。

(※地域の特徴的な樹木や各路線の街路樹などは、「松江樹木めぐり(橋北編、橋南編、城山周辺、嵩山周辺、床几山周辺、茶臼山周辺)」を参照。)



(四十間堀川)

筋違橋とタブノキ。地域のシンボルとなっている樹木は積極的に保全したい。(景観重要樹木)



(玉湯小学校)

学校のシンボルで、地域住民共有の記憶となっているセンダン。大事に守りたい。



(旧福浦小学校跡地)

今は廃校となった小学校の跡地に残るクスノキ。小学校は無くなっても、楽しかった思い出を呼び起こす。





**(大手前通り)**  
永らくこの場所にあったソテツとクロマツを残すことで、通りの風景の記憶を残した。



**(塩見縄手)**  
堂々とした老松の並木が城下町の歴史をより印象付けている。



**(松江大橋北詰)**  
石積の護岸に似合う、大橋川沿いの柳並木。松江らしい景観。



**(寺町緑地)**  
市街地の景観に潤いを与える緑地。小規模でも効果は大きい。



**(松江市立病院)**  
屋上緑化も積極的に活用したい。病窓からの眺望に配慮している。



**(宍道湖大橋北詰)**  
植栽の効果的な配置で、歩道を明るい雰囲気。コンクリート壁による閉塞感も和らげている。



**(宍道湖北通り)**  
広がりのある宍道湖景観を、より印象的にする緑地帯。



**(城山公園)**  
城山公園のシンボリックな“なんじゃもんじゃ(ヒツパタゴ)”。この木を目当てに訪れる人も多い。

## 9 占用行為等

公共用地における工作物の占用行為などについては、占用物などの位置、形態、意匠及び色彩が周辺の景観と調和したものとなるよう指導すること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【規模、位置、構造、形式】

- 道路敷地その他の公共用地における占用などの許可または契約をする際には、設置物が煩雑な印象を与えないよう、周辺の景観と調和させるよう配慮、指導する。
- 電柱類の位置は、良好な景観を損ねないよう配慮するとともに、関連事業者との連携により計画的な地中化を図る。
- サイン類はできる限り整理統合し、設置数を削減する。
- ポンプ施設の制御設備などは、可能な限り周辺の電柱や照明柱等へ共架し、目立たない位置や色彩とするよう努める。
- 道路景観軸や河川景観軸、眺望景観などを分断するおそれのある横断架空線類は、景観に与える影響の度合いによっては、他の横断構造物への添架や経路の変更などを検討する。

#### 【形態、意匠、素材、色彩】

- ベンチやモニュメント等のストリートファニチャーは、地域特性への配慮とともに、周囲の舗装、防護柵、照明施設等とのデザイン的な調和を図る。
- マンホールやバルブ等の鉄蓋は、景観上特に配慮が必要な場所では、表面を周囲の舗装と同一の仕上げとするなど、修景を検討する。また、緊急用設備を除き、蓋の彩色が過度に主張しないことが望ましい。
- 自動販売機は、設置する場所にふさわしい色彩や照明とし、周辺の景観を損なわないよう努める。

#### 【対象の範囲】

- 「占用行為等」には、道路や河川などへの占用行為のほかに、行政財産の目的外使用や普通財産の貸付による工作物等の設置を含む。



**(松江イングリッシュガーデン)**  
自動販売機は煩雑な印象を与えないよう、建物の中に設置している。



**(松江イングリッシュガーデン)**  
周辺施設(照明施設、防護柵、屋外広告物等)と色彩を統一したバス停標識



**(大手前通り)**  
照明柱、時刻表、送電用地上機器等を車道側に集め、歩行空間をすっきりさせている。



**(松江駅前広場)**  
駅前の賑わいのアクセントとなる鮮やかな色彩の時計台。



**(大手前通り)**  
交差点のポケットパークに設置してあるポストは、原色を避けて周囲との調和を図っている。



**(大手前駐車場)**  
史跡に近接するため、外観を落ち着いた色に変更している。



**(松江歴史館前)**  
蓋の表面を舗装材と同一素材で仕上げることで、異質感を少なくしている。



**(カラコロ広場周辺)**  
賑わいのある広場では、彩色を施したマンホール蓋が華やかさを添える。場所を選んで設置したい。



**(塩見縄手)**  
伝統美観保存区域であり、消火栓の表示が困難であるため、適度な彩色で視認性を高めている。



**(北田川)**  
堀川を横断する架空線類がないため、水面と天守への眺望が分断されない。



## 10 維持管理

- ア 維持管理に当たっては、周辺の景観と調和させるよう努めるとともに、より良好な景観形成を目指した修繕及び補修に努めるとこと。
- イ 日常的な維持管理は、まちづくりの一環として地域との協働を図るなど、行政と住民が共に取り組む意識の醸成に努めること。

### 【計画上の留意点、配慮事項等】

#### 【整備計画】

- 適切な維持管理体制のもと、定期的な点検、きめ細かな修繕及び補修に努め、常に良好な状態を維持し、整備時の方針が継承されるよう努める。
- 継ぎ接ぎ状の修繕が景観を損なうことのないよう、計画・設計段階から整備後の技術的・経済的な維持管理のしやすさを考慮する。

#### 【地域との協働】

- 街路樹や植栽のように、剪定、落葉の清掃といった定期的な維持管理が見込まれる場合は、あらかじめ近隣住民の意向を確認するとともに、維持管理への住民参加を促進するよう働きかけ、行政と住民が共に良好な景観を維持する意識を醸成する。

#### 【供用終了後の維持管理】

- 整備当初の目的を終えた公共施設等が周辺の景観に悪影響を及ぼさないよう、再活用又は処分するまで適正な維持管理に努める。



(北公園)  
適切な管理により、良好な景観が維持されている。



(市)古志原浜乃木線  
「けやき通り」とも呼ばれる特徴ある景観は、地域に住む人々の高い意識と活動に支えられている。



(主)松江木次線  
住民によって沿線のいたるところに季節の花が植えられ、「忌部花街道」として通行する人の目を楽しませている。





**(市)図書館西通線**

緑あふれる歩道は、地域住民の行き届いた維持管理によって、整備完了時よりもさらに潤いを増している。



**古浦海岸**

近年漂着物は増加しているが、住民や企業の自発的な活動によって美しい海岸景観が保たれている。



**(市)日吉団地中央線**

こまめな手入れによって殺風景な擁壁も花で彩られている。

